

平成 22 年度春 システム監査試験分析速報

2010,4,19 (株) アイテック 情報技術教育研究部

1. 試験全体講評

午前Ⅰはオーソドックスな問題が中心で、比較的対応しやすい問題でした。午前Ⅱは J-SOX（金融商品取引法）関連の問題が 2 問出題されおり、この分野の知見が多少ないと少し苦勞したかもしれません。

午後Ⅰは、全体的に難易度、字数ともに大きな差がなく、どの問題を選んでも有利不利はあまりなかったと思われます。どの設問も問題文にヒントがしっかり書かれていましたので、そのヒントを見逃さずに解答することが重要でした。

午後Ⅱは、問 1、問 2 が比較的オーソドックスな問題であったので、それほど苦勞する内容ではなかったと思います。設問の指定はそれほど限定が強くありませんでしたので、経験に基づいて実務的な内容を書ければ、対応できたのではないかと思います。

2. 午前Ⅰ試験（高度試験共通）の講評

新試験制度になって 3 回目の試験実施ですが、前回の平成 21 年度秋期における高度試験午前Ⅰは午前免除対象者が受験者の半数前後いました。試験種別によって異なりますが、午前Ⅰを受験した人で合格点の 60 点以上取れた人は受験者の 4～5 割です。普段学習をしていないと簡単には 60 点を取れませんので、しっかり対策する必要があります。

共通知識として幅広い分野から 30 問が出題される午前Ⅰ試験ですが、過去 2 回と同様に今回も応用情報技術者試験の 80 問からの抜粋になっていました。

出題内容に関して、前回試験では新傾向問題が増えましたが、今回はやや少なくなっています。難易度は前回に比べれば、少し易しかったといえます。

(新傾向問題)

- 問 3 整形形式の XML 文書が妥当である条件
- 問 9 経験則を基にした評価方法
- 問 14 LAN アナライザを使用するときの留意点
- 問 18 プロジェクトライフサイクルに共通する特性
- 問 20 ITIL v3 における問題管理プロセスの目標
- 問 26 企業の競争戦略におけるチャレンジャ戦略

3. 午前Ⅱ試験講評

昨年と同様に、最初にシステム監査関連の問題が 15 問あり、その後その他の試験範囲からの問題が 10 問出題されました。

システム監査関連での今年の大きなポイントは、金融庁の“財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準”からの出題が 2 問出たことです。これによって、J-SOX（金融商品

取引法) 対応についても出題範囲に入ることが明確になりましたので、今後はこの関連の勉強をしっかりとやる必要があると思われます。

その他の分野では、会社法の監査委員会の問題が目新しい問題でした。今後は、会社法の内部統制関連の部分についても勉強しておく必要がありそうです。また、BPMN (Business Process Modeling Notation) に関する問題も出題されました。

4. 午後Ⅰ試験講評

昨年度同様に、1問当たり210字前後の字数の解答でした。内容の面では、今年も組込みシステムの問題は出題されませんでした。出題内容としては、システムの内容が詳しく書かれており、そこにヒントがある問題が多いのが特徴でした。

問1 企画段階におけるシステム化効果の監査

最近出題が増えている企画段階におけるシステム監査の問題です。設問内容はオーソドックスな内容で、問題文にヒントがはっきり書かれているので、比較的答えやすい問題でした。

問2 倉庫システムの監査

倉庫システムの監査に関する問題です。倉庫システムに関する業務知識はなくても解答できましたが、システムの更新のタイミングに関連する設問が多いので、システムの内容を注意深く見ていかないと答えられない問題でした。

問3 モバイル営業支援システムの監査

生命保険会社のモバイル営業支援システムに関する問題です。システムの仕組みが詳細に書かれており、それをきちんと理解することが求められていました。ただし、注意深く読めばヒントは見つかる問題なので、それほど解答しにくい問題ではありませんでした。

問4 ポイントシステムの監査

家電の量販店のポイント管理システムの監査に関する問題です。ポイント管理システムの内容が詳細に記述されているので、その内容を理解した上で、設問に即して解答していけば、比較的解答しやすい問題であったと思われます。

5. 午後Ⅱ試験講評

出題形式は、昨年と同じように設問Ⅰ、設問Ⅱともに、700字以上1400字以上でした。問1は品質管理の視点、問2はデータ活用とデータ保護という従来よく出題されるテーマでしたので、どちらかの問題を選んだ人が多かったと思われます。それに対して問3は、コスト削減に関する問題でしたので、その経験がないと少し選びにくい問題でした。

問1 情報システム又は組込みシステムに対するシステムテストの監査

初めて組込みシステムを対象とした問題が出題されました。ただし、一般の情報システムでも解答できる問題でした。内容的には、システムテストの内容とその適切性に関する監査の問題でしたので、今年の3問の中ではオーソドックスで一番解答しやすい問題であ

ったと思われます。

問2 電子データの活用にかかわるシステム監査

一見書きにくそうなテーマでしたが、内容を見るとデータ活用の有効性とその保護に関する設問なので、それほど書きにくい内容ではありませんでした。問題文にもヒントが書かれているので、その観点を外さないように書いていけば、設問に沿った内容にすることができたと思います。

問3 IT保守・運用コスト削減計画の監査

今年の問題の中では、一番馴染みが少なく書きにくい問題であったと思われます。IT保守・運用コストの削減計画に関連した経験があれば問題はないのですが、その経験がないとリアリティのある論文になりにくかったと思います。

以上

